

第1回 宗像市スポーツ推進審議会議事録（要旨）

日	時	平成27年7月23日（木） 19:00～21:00
会	場	宗像市役所202会議室
出席者	委 員	市丸 梅田 江崎 釜瀬 北濱 末永 橋本
	事務局	鶴部長 岡田課長 高崎係長 築地
欠席者	委 員	吉田

1 委嘱状の交付

委員に委嘱状を交付

2 あいさつ（鶴部長）

今回、さまざまな分野の専門家の皆さまに委員にご就任いただいたので、活発な議論とご意見をいただき、この推進計画が計画どおりに推進されるように審議をお願いしたい。

3 自己紹介

4 正副会長の選任

会 長 市丸委員

副会長 釜瀬委員

※市スポーツ推進審議会条例第5条第2項の規定による。

5 会長あいさつ（市丸）

引き続き、皆さまのご協力をいただき会長を務めていきたい。

6 審議会の運営について

（1）議事録の作成について

要点筆記とする。

（2）審議会の公開・傍聴について

公開・傍聴可とする。

（3）その他

7 今年度の主な新規事業について（資料1）

○主な新規事業一覧中に8つの基本施策の2. スポーツ・運動を通したコミュニティ活動の活性化中の事業がないが、既にコミュニティで色々な活動を取り組んでいるのではないか。

→あくまでスポーツ推進計画中に掲げている事業の中で具体的に新規事業として取り組んでいるものを記載している。（2）コミュニティ・スポーツ交流事業の実行体制の

整備及びサポートとしてスポーツ推進委員の増員を行っているが、コミュニティ運営協議会でのスポーツ部会までの位置づけはできていないので新規事業の取り組みとしてあげていない。

- スポーツ・サポートセンター（仮称）の組織設立は総合スポーツセンター（仮称）の中を想定していたと思うが、総合スポーツセンターの建設が不確定の場合はどうなるのか。

→計画では総合スポーツセンター（仮称）の中に組織を設立するとしているが、他市先進地を視察し、センターが建設されない場合も含めてスポーツ・サポートセンター（仮称）の組織設立をどうするか検討していきたい。

- 宗像市大規模国際大会キャンプ地誘致推進本部の体制ができたと聞いていたが、これからワールドカップラグビーやオリンピックなども見据えて国の方ではスポーツ庁ができるが市ではスポーツ観光の観点からどのような動きがあるのか。

→スポーツツーリズム検討委員会の中で、スポーツコミッションの組織設立については体育協会内、観光協会内、グローバルアリーナ内、または市の中なのか議論してきた。予算面もあるが、民間企業への業務委託も考えられる。

- 資料について具体的に説明を受けたがもっと事前に配布してもらった方がよい。

→今後はもっと早めに資料を配布したい。

- 海洋性スポーツの推進事業については小学生のプログラムのようになっているが、短大生でも十分楽しんで貴重な体験ができたので、むしろ中学生や高校生のプログラムとしても体験させるべきではないか。地域であったり、障がい者であったり広げていける可能性を十分に秘めている施設である。

→海洋性スポーツの体験授業については海で行われるため大変危険と隣合わせである。

そのため指導者のサポート体制が不可欠であるが、現在は小学校の体験授業は平日に受け入れているが、平日はサポート体制を整えるのが難しいところがある。土曜日授業でも可能か。

→土曜日は可能である。

- このプログラムは全小学校への体験が可能か。

→スタッフ体制の確保と予算の確保が必要であるが、希望の学校は可能な限り受け入れたい。5年生を対象に数年間で全学校が体験できればと考えている。

- 宗像は歴史的に海と関係が深いのでヨットやカヌーの体験はぜひ行って欲しい。また合わせて水辺の安全教育も行って欲しい。施設として全体が難しければ少年自然の家などと連携して行うことを考えてはどうか。

→体験の前に宗像の歴史について講義時間を設けている。現在も宿泊体験授業の中で少年自然の家と連携して行っている。

- 事務局に教育委員会の職員がいないので、学校授業として取り組んでいくのであれば教育政策課の職員も審議会に入るべきではないか。

→文化スポーツ課も教育委員会の兼任辞令を受けているが、推進計画を進めるにあたってはもっと連携をしていくべきであると考えている。

8 事業の進捗状況及び今後の事業計画について（資料2）

○ウォーキングについてであるが、JRのビートルと提携して韓国から参加者を募ってはどうか。

→ウォーキングについては国内しか考えていなかったが、海外からの参加者も視野に入れ検討したい。

○スポーツ推進計画を推進していく上で文化スポーツ課のみで行うことは難しいと思うのでもっと他の部署と連携し、役割分担をしていくべきではないか。

→学校関係は教育政策課、健康づくりについては健康課、スポーツ観光などは商工観光課などと連携して進めていきたい。

○スポーツ観光に関してコミッションの立ち上げ等推進体制の確立、イベントと観光の融合等スポーツツーリズムの構築を早急に図るべきである。キャンプ地誘致を進めていくには具体的には旅行会社と提携するのが重要であると考え。

→それもひとつの方法として検討していきたい。

○スポーツ推進計画の進捗状況、例えば新規事業については広報をしているのか。

→市の広報紙、フェイスブックでお知らせしている。また新規事業で目新しいことは記者発表をしている。

○コーディネーショントレーニングについては子どもたちだけではなく、大人に対しても市体育協会などと連携して早く取り組んではどうか。

→平成24年度、平成25年度に体験会を開催している。今後はブロンズの資格取得の講座を開催したいと考えている。今年度については予算を確保できなかった。

9 その他

配布資料

1. 会議次第
2. 宗像市スポーツ推進審議会条例
3. 宗像市スポーツ推進審議会委員名簿
4. 主な新規事業一覧表
5. 今年度の主な新規事業について（資料1）
6. 各施策の進捗状況一覧表
7. 事業の進捗状況及び今後の事業計画について（資料2）